

悩める10代 受け止めたい



児童養護施設などで学習支援に取り組むNPO法人「3keys（スリーキーズ）」（東京都新宿区）が、いじめや予期せぬ妊娠、金銭トラブルなどに悩む十代の子どもの向けに支援団体の検索サイトを作った。六月開始の全国版に先立ち、今は東京版を運用中。NPO法人は「子どもたちと支援団体をつなげる仕組みが必要。スマートフォンで簡単に調べられるようにした」としている。（小林由比）

①「だれにも相談できずにいる10代の子たちに使ってほしい」と話すNPO法人「3keys」の渡辺さん（左）ら＝東京都新宿区で
②子どもたちが使いやすいように作った「ミックス」のトップページ



NPO法人は都内や神奈川県の十八施設で学習支援を実施。大学生がボランティアで勉強を教えており、子どもから悩みやトラブルの相談を受けることも多いが、NPOだけでは対応し切れないという。一方、専門的な支援を実施する団体は各地にあり、双方をつなぐ方法を考えた。

NPO法人の渡辺恵梨歌さん（左）は「死にたいと思うほどに追い込まれながら、だれにも相談できない子は多い」。新サイトでは分かりやすさを最優先した。「サイト内をあちこち探さないと相談方法が分からなかったり、難しい行政の言葉が並んでいたりと使ってもらえない」新サイトの名称はMex（ミックス）。トップページ

都内で先行実施 6月から全国版

に、暴力や性被害などに対応する「犯罪被害」、妊娠や性的少数者（LGBT）などを扱う「からだ・こころ」など六つの領域のボタンを並べ、クリックするとテーマに応じた相談先や支援団体がすぐ表示される。ボタン一つで電話で話したり、メールを送ったりできる。

約六十の支援内容を載せる東京版は、昨年四月から運用を開始し、十月で四万三千人がアクセスした。このうち、延べ千三百人以上が電話やメールで支援団体と連絡できたとみられ、渡辺さんたちは手応えを感じている。

渡辺さんは「見えにくい子どもたちの悩みを受け止められるようにしたい」と話す。全国版開設までに約三百の団体や自治体に呼び掛け、内容を充実させることにしている。

自殺などテーマ 22日にセミナー

スリーキーズは二十二日午後七時から、ツイッタージャパン本社（中央区京橋）でミックスの運用などから見える子どもたちの問題のうち「自殺」や「LGBT」をテーマにセミナーを開く。専門家の講演などがある。申し込みはホームページ＝<http://3keys.jp/cisl4>＝を参照。